

九州歴史資料館	行事・事業予定
展示	<p>常設展：「歴史(とき)の宝石箱」(～10月21日(日)、1月16日(水)～3月10日(日)、3月16日(土)～)(第1展示室)</p> <p>特別展：10月30日(火)～12月27日(木) 長崎街道400年記念特別展「長崎街道－世界とつながった道－」(第1展示室)</p> <p>企画展：10月30日(火)～1月14日(月・祝) 第11回企画展「発掘された筑紫万葉の世界」(第2展示室)</p> <p>1月16日(水)～3月10日(日) 第12回企画展「聖地四王寺山」(第1展示室・一部)</p> <p>1月16日(水)～4月7日(日) 第13回企画展「筑後考古学研究所の黎明－田中幸夫コレクション展」(第2展示室)</p> <p>パネル展：10月30日(火)～12月27日(木)「周防灘沿岸の戦争遺跡」(第4展示室・文化情報広場)</p> <p>1月5日(土)～2月24日(日)「なかをのぞいてみると…九歴の文化財をX線CTで診る」(第4展示室)</p> <p>1月5日(土)～2月24日(日)「朝鮮半島の文化遺産－新羅の山城－」(文化情報広場)</p>
講座イベント	<p>館長講座：全12回の連続講座「古代の朝鮮半島」(第4土曜日)(2月のみ第3土曜日実施)(受付は終了しました)</p> <p>九歴講座：全12回 第2土曜日(第9回～第12回は10月より申込開始。定員160名。定員になり次第締切)</p> <p>九歴ゼミ：10～12月「薩摩塔の時空－異形の石塔をさぐる－」(受付は終了しました)、1～3月「九歴古文書講座」(定員20名要申込)</p> <p>夜のギャラリートーク：11月21日(水)、2月20日(水) 19:00～20:00(18:30受付開始～ 事前申込不要、但し観覧料が必要)</p> <p>九歴ボランティア成果発表会：3月16日(土) 13:30～15:30(事前申込不要)</p> <p>コンサート等：11月4日(日) きゅうれき万葉イベント 館長講演「万葉集と考古学」、朗読コンサート他 13:30～事前申込不要</p> <p>11月18日(日) 開館2周年イベント レインボーコンサート in おごおり part2(和洋楽器)14:00～事前申込不要</p>
発掘調査	大宰府史跡調査(蔵司地区) 県内遺跡発掘調査 4月～3月
求菩提資料館	<p>常設展：求菩提修験道の世界</p> <p>企画展：ミニ企画展 風にのって～溝部志公写真展～ 11月10日(土)～11月25日(日)</p> <p>ミニ企画展 おひなまつり 2013年2月2日(土)～3月31日(日)</p> <p>市民歴史講座：10月6日(土)「律令時代の豊前国」 真野和夫氏</p> <p>11月3日(土)「豊前地方の武士の進出」 桃崎祐輔氏</p> <p>12月8日(土)「封建時代の豊前国」 恒遠後輔氏</p>
甘木歴史資料館	<p>常設展：「朝倉の歴史と民俗資料」</p> <p>企画展：10月2日(火)～12月2日(日) 第51回企画展「平塚川添・吉野ヶ里・原の辻三姉妹遺跡展－交流、マツリ、日々の営み－」</p> <p>企画展講演会：10/6・10/27・11/3・11/24に開催。(要電話申込。詳しくはお問合せ下さい。)</p> <p>新春企画展：「今年の干支展－巳－」平成25年1月5日(土)～1月20日(日)</p> <p>特別公開講座：「古賀百工と山田堰・堀川・水車群」2月23日(土)(要電話申込。詳しくはお問合せ下さい。)</p> <p>春季節展：「あ！さくら展」平成25年3月19日(火)～4月7日(日)</p>
柳川古文書館	<p>企画展：8月28日(火)～10月25日(木)「立花家と家臣団 第1期 立花家を支えた家臣たち」(入館無料) 10月28日(日)～11月25日(日)「省菴のことば、舜水のことば－一日中書法作品展」</p> <p>11月28日(水)～2月6日(水)「立花家と家臣団 第2期 立花家、近世大名への道のり」</p> <p>常設展：2月9日(土)～4月7日(日)「保存のかたち～史料を守り、伝える～」(入館無料) 同時開催・柳川さげもんめぐり「松井家・立石家のおひなさま(仮)」</p> <p>市史歴史講座：11月4日(日) 柳川市史『史料編V 近世文書』の成果を分かりやすく解説</p> <p>歴史文化講演会：12月23日(日)「戦国立花記」柳川市史通史編『柳川の歴史4 近世大名立花家』の成果を講演</p> <p>※歴史講座・歴史文化講演会は柳川市立図書館2階AVホールにて開催、13:00開場、13:30～16:30、入場無料、事前申込不要</p>

※各館の行事や休館日(閉室)等については、各館ホームページ並びに直接お問い合わせください。

福岡県の指定文化財

山家宿西構口並びに土塀[県指定史跡]:筑紫野市山家

江戸時代、筑紫野市山家には長崎街道の宿場町として山家宿が置かれていました。その宿場町の出入口に建てられていたのが「構口」です。構口は石垣と土塀を組み合わせた構造物で、出入口部分の街道を狭めるように造られていました。県内で、道の両側に石垣と土塀が現存する構口は、この山家宿西側(長崎側)構口のみです。アクセスは西鉄バス山家駅前停留所、またはJR 筑豊本線筑前山家駅から徒歩約5分です。



九州歴史資料館

KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

〒838-0106 福岡県小郡市三沢 5208-3

☎ 0942-75-9575

FAX 0942-75-7834

URL <http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/kyureki/> 休館日 月曜日(ただし祝日・振替休日の場合はその翌日) 年末年始(12月28日～1月4日)

公共交通機関

《西鉄電車》天神大牟田線三国が丘駅から徒歩 10分
《JR》鹿児島本線原田駅からタクシーで約5分

自動車

《九州自動車道》筑紫野 I.C. から鳥栖筑紫野道路経由で約 15分
《大分自動車道》筑後小郡 I.C. から国道500号線・県道88号線経由で15分
《福岡都市高速》水城出口から国道3号線経由で約 25分



編集・発行 九州歴史資料館 印刷 片山印刷(有)

九歴だより 平成二十四年十月(第三十六号)



特別展

「長崎街道－世界とつながった道－」開催!

江戸時代に、貿易都市長崎と北九州の小倉・大里を結んだ長崎街道は、「鎖国」の世にありながら、海外の文物が流通し、外国人や象・ラクダも通行する国際色豊かな道でした。今年は、その長崎街道の冷水峠越えと内野宿(飯塚市)が開かれた慶長17年(1612)から400年の節目です。これを記念して、長崎・出島や筑前六宿をはじめ、沿道の各地に伝わる文化財や出土品など多彩な展示品から、長崎街道を紹介し、その特質に迫ります。九州の測量から200年となる伊能忠敬の日本地図も特別出品します。貴重な機会をお見逃しなく、秋の九歴で江戸時代の旅をお楽しみください。

会期 平成24年10月30日(火)～12月27日(木) **会場** 九州歴史資料館第1展示室(要観覧料)

お知らせ 特別展「長崎街道－世界とつながった道－」は、通常料金で観覧いただけます。

12月1日(土)には、記念講演会も開催します(要申し込み)。

第11回企画展 「発掘された筑紫万葉の世界」

今から1300年前の奈良時代、大宰府では大伴旅人や山上憶良を核として万葉筑紫歌壇が開き、筑紫の風物と望京の想いを詠った数多くの秀歌が誕生しました。その舞台となった大宰府には、旅人が長官として赴任した大宰府政庁、沙弥満誓が造営を推し進めた観世音寺、憶良が旅人の妻の死を悼んで歌に詠んだ大野山（四王寺山）、旅人が愛する見島との別れを惜しんだ水城など、今も史跡として残されています。

今回の企画展では、万葉秀歌とともに、40年以上にわたる大宰府史跡の発掘調査成果と出土品をご紹介します。あわせて、梅花の宴が催された旅人の邸宅はどこか？旅人が旅立ったのは水城か蘆城か？など、筑紫万葉の謎に迫ります。

会期：平成24年10月30日（火）
～平成25年1月14日（月・祝）
会場：第2展示室（入場無料）

九州歴史資料館 第11回企画展

筑紫万葉の世界

入場無料

平成24年 10月30日（火）～1月14日（月）

会場：九州歴史資料館 第2展示室

開館時間：午前9時30分～午後4時30分（入館は4時まで）
休館日：月曜日（月曜日の場合は祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12/29～1/4）

11月4日（日） 申込み不要（無料）
定員100名（申込不要）
13:40～14:40 講演「万葉歌と大宰府」
14:45～15:30 万葉歌鑑コンサート
15:30～16:00 企画展「発掘された筑紫万葉の世界」の特別展示

九州歴史資料館
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM
〒810-0001 福岡県小郡市三ツ沢5-200-3
TEL: 0942-75-9575 FAX: 0942-75-2834
http://www.fhg.pref.fukuoka.jp/fyumeiki/

パネル展 「周防灘沿岸の戦争遺跡」

行橋市をはじめ周防灘沿岸の地域には、先の大戦で使用された飛行機格納庫「掩体壕」をはじめとする、多くの戦争遺跡が残されています。終戦から70年近くが経過した現在、こうした戦争遺跡は、戦争の記憶を継承し、平和の大切さを伝えていく上で、ますます大切なものとなっています。

本展では、周防灘沿岸を中心に、県内各地の戦争遺跡の写真を展示し、戦争を物語る遺跡が様々な場所にあって、平和の尊さを訴え続けていることを紹介します。

会期：平成24年10月30日（火）～12月27日（木）
場所：第4展示室・文化情報広場（入場無料）
主催：九州歴史資料館 共催：行橋市教育委員会



稲童1号掩体壕（行橋市）
※行橋市教育委員会提供



下関要塞地帯高蔵山堡壘跡（北九州市）
※中原博氏提供

第12回企画展 「聖地四王寺山」

大宰府政庁跡の背後に構える四王寺山は、史跡の宝庫です。中でも最も目を引くのは、665年に築城された、大野城の遺構でしょう。至る所に今なお威容を見せる大野城は、いにしえこの山が、巨大な軍事拠点だったことを示しています。しかしまた、この山は、ただの軍事拠点ではなく、宝亀5年(774)に四王寺が建立されて以降は、聖地としても歩んできました。むしろ時が経つにつれて、聖地としての性格の方が主となったからこそ、現在の山名があるのだと言えます。今回は、経塚出土遺物の展示を主体としながら、四王寺山の、聖地としての側面に、光を当ててみます。

なお、本展では、奈良国立博物館との考古資料相互活用促進事業により、福岡ゆかりの経塚遺物が里帰りいたします。

会期：平成25年1月16日（水）～3月10日（日）
会場：第1展示室（一部・要観覧料）



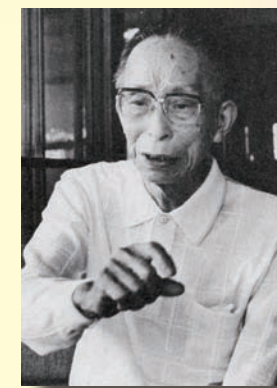
（左）四王寺山経塚出土如来形立像
（重要文化財・宇美八幡宮蔵）
（右）四王寺山経塚出土銅製経筒（当館蔵）

第13回企画展 「筑後考古学研究所の黎明—田中幸夫コレクション展—」

田中幸夫氏（1902～1982）は、昭和初期から戦後にかけて、福岡県内各地の高校で教員として教壇にたちながら、九州考古学会の創設や調査研究に携わり、九州における考古学研究草創期を語る上では欠かせない研究者です。

その研究フィールドは、北九州、宗像から筑後地域に至るまで幅広く、その活動の中では多くの遺跡の調査を行い、採集された遺物は膨大な蔵書と共に「田中幸夫コレクション」として、昭和56年（1981）に九州歴史資料館に寄贈されました。

氏が亡くなられておよそ30年が過ぎてなお、コレクションの資料的価値は高く評価されています。今回の展示では、氏が最も深くかかわった筑後地域の出土資料を中心に、筑後考古学研究所の黎明を飾った資料の数々を展示します。



故・田中幸夫氏



五鈴鏡（うきは市こうもり塚出土）

会期：平成25年1月16日（水）～4月7日（日）
会場：第2展示室（入場無料）

関連講座のお知らせ

第11回九歴講座「私の父田中幸夫と筑紫の古代史」
講師：田中正日子（元第一経済大学教授）
日時：平成25年2月9日（土）13:30～15:30（要参加申込み）